

園芸をゆる〜く遊び半分で

**ひろしまね**  
**園芸福祉協会**



で笑顔になろうという新しい分野なんです」と教えてくれたのは、代表の小田原裕紀さん。万国共通・老若男女で話題にできる植物を通じ、交流を深めていきたいそうです。今では、園芸福祉士の資格を持たないメンバーも増え、約20人がグリーンヒル郷原の「植物講座」の補助や、市内の高齢者施設、障害者施設で出前講座などの活動を行っています。

「以前は、植物にまったく心がなかつたんです」と話すのは、元福祉施設の職員 松田純子さん。仕事にストレスを感じた時、庭に咲く花を目にして、癒されるのを実感し、入会。

寒空の下、グリーンヒル郷原の香りの園で、白い息を吐きながら、笑顔で作業しているグループ。寒さの中、笑顔でいられる理由を伺おうと、話しかけてみました。グループの名前は「ひろしまね園芸福祉協会」。6年前に、園芸福祉士の資格試験で出会った仲間たちが設立した団体です。

「入会を機に、地域の活動にも積極的になりました」と話すのは、堂本正道さん。身内の介護をする中、日々の疲れから解放されたいと、園芸に感心を持つようになったそうです。2人つよになつたそうです。2人つよになつたそうです。2人つよになつたそうです。

う声を耳にしていたんです」と理事の進藤丈典さん。屋外での園芸のほかに、染め物など、草木を使ったクラフト講座を参加者とともに楽しんでいます。そんな中、最近力を入れてい



るのは「呉・椿プロジェクト(自称)」。もつと市民の花ツバキを楽しんでもらいたいです」と進藤さん。ツバキ油搾り体験や、ツバキ油を使ったポップコーン作り、ツバキの炭でろ過したお酒を市内の酒造会社と

共同で作るなど、市民の花ツバキの認知度向上にも貢献しています(3月24日(土)・25日(日)のツバキ展(23頁)にも出展)。今後の活動について何うと「癒しが目的の団体ですから、今後の目標にとらわれ過ぎると、それがストレスになるので、(笑)。遊び半分で、ゆる〜くつながら、笑顔あふれる団体を目指したいです」と話す皆さん。寒さの中でも血色の良い笑顔が本当にすてきでした。

◎進藤さん ☎33-7173

つなぐ手に海・技・人が光るまち

# くくれ

市政たより

平成24年  
2012  
vol.733  
2月10日発行

3

「特集」

## 応援します！

## 外出

4月から優待証が変わります！

- ★ 市議会の動き
- ★ 呉駅前でタクシーなどの 駐車対策社会実験
- ★ 公民館定期講座生徒募集
- ★ 2012プロ野球 セントラル・リーグ公式戦開催



**学校探訪**  
No.48



みづくち  
**三津口小学校**

地域に響く音色



↑ 昨年の運動会の様子

あるのが んばれま す」と6年生の盛みさきさん。発表会の後、地域の人が「演奏よかつたよ」とほめられることがとてもうれしいと言います。

卒業を前に、4年生に楽器の持ち方や手入れの方法などを教える6年生。楽器を引き継ぐ後輩の福永華圭さんは「先輩のようにかっこよく演奏して、下級生たちがあこがれる存在になりたい」と今後の目標を笑顔で話してくれました。

代々、先輩から後輩へ引き継がれる楽器。その修理には資源回収など、地域の協力で得られたお金が充てられることもあり、子どもたちの練習意欲にもつながっているそうです。

地域への感謝の気持ちが入められた陽気な音色。今日も町に響きわたります。

◎三津口小学校 ☎84-2048

